

| | | | | | | |
|--|-------------------------|-------------|------|--|------|----|
| 科目名 | 障害児保育Ⅰ | | 担当教員 | 久保 瑠子 | | |
| | | | 担当形態 | 単独 | | |
| テキスト | 前田泰弘編著「実践に生かす障害児保育」萌文書林 | 単位数 授業形態 | 1単位 | 演習 | 開講時期 | 後期 |
| <p>講義概要</p> <p>■到達目標 各障害の特性を理解した上で、障害児の育ちを支える保育実践に関わる基礎的知識を習得する。そして、障害児保育の本質を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各障害の特徴を理解し、自分の言葉で説明できる。 障害児の育ちを支える保育者として大切にしたいことを自分の言葉で説明できる。 障害児保育の本質を探求し、説明できる。 <p>■授業の概要 「障害がある子ども（人）」との関わり方に漠然と大きな不安を感じている人も多いと思います。この授業では、まず各障害の特性について、映像を交えながら丁寧に理解していきます。また、彼らの内面世界をより理解するために、様々な疑似体験を行います。障害のある子どもと関わる上で、保育者としてどのようなことを大切にしたいのかを自分なりに考えながら、柔軟な視点を持って参加してください。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 「障害」とは何か 第2回 障害児保育が目指すもの：インクルーシブ教育・特別支援教育とは 第3回 発達障害とは 第4回 ASDの特性の理解と支援① 第5回 ASDの特性の理解と支援② 第6回 ASDの特性の理解と支援③ 第7回 ADHDの特性の理解と支援① 第8回 ADHDの特性の理解と支援② 第9回 LDの特性の理解と支援 第10回 知的障害の特性の理解と支援 第11回 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由の特性の理解と支援 第12回 家庭や関係機関との連携 第13回 障害のある子どもの保育にかかわる現状と課題 第14回 総まとめと期末試験 第15回 期末試験解説：全体の振り返り</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内で提示された課題を行うこと。 授業内で学んだことを復習し、理解しておくこと。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> コメントペーパーの内容と授業での取り組み — 30% 期末試験 — 70% | | | | | | |
| 参考文献 | 授業中に適宜示します。 | | 特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> 講義は板書形式で行う。大学ノート（A4サイズ）・はさみ・テープのりを毎回持参すること。 講義形式ではあるが、議論やワーク等を行う予定であるため、授業への積極的な参加を期待する。 単位を修得できない場合、障害児保育Ⅱは履修できません。 <p>【課題等のフィードバック方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験は模範解答を提示して解説を行う。 | | |
| 卒業・免許状・資格との関連 | 保育士資格必修 | | 幼 | | | |
| | | | 保 | 保育の内容・方法に関する科目 | | |